



こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口 明子 ☎047-767-5030 植田 進 ☎047-487-9754

伊原 忠 ☎047-488-7207 飯川英樹 ☎080-1239-8132

ホームページへ▶



市議団ホームページ <http://jcp-yachiyo.jp/>

共産党控室メール kyousan@city.yachiyo.chiba.jp

第476号

2020年10月12日

発行

日本共産党

八千代市議会議員団

八千代市大和田新田

312-5

「学問の自由」が危機にさらされている

日本国憲法第23条「学問の自由は、これを保障する。」と明記されています。戦前の学問は戦争遂行のために、人文科学も自然科学の分野も政府に批判的なものは一切許されませんでした。過去を反省し国民の権利として「学問の自由」が保障されたのです。

「日本学術会議」もこの立場で学術研究している団体です。この団体への「人事介入」は6人の学者に対する人権侵害であり、菅政権が憲法破壊を平然と行う権力であることを示した重大事件であると考えます。

歴史修正主義の教科書は使わない

さて9月議会に「次期中学校歴史教科書の採択に関する件」の請願が提出されました。請願者は「平成27年度採択の教科書が文科省の検定に合格したとはいえ、教育基本法及び学習指導要領に沿ったものとはいえない」と述べてます。検定に合格したものまで批判し、教育委員会が採択した教科書は問題だといわんばかりに採択の見直しを求めたものです。

今年の教科書の選定では「侵略戦争を美化」した育鵬社の歴史教科書の採択は6分の1（占有率6.4%から約1%）に減り、「改憲誘導」の公民教科書は12分の1（占有率5.8%から0.5%）に減りました。一度は使用してみたものの社会科学的な教科書に値しないという判断が下されたのだと思います。八千代市はもともと育鵬社の教科書を使っていません。これは公正で正当な判断が働いているものと考えます。

世論に反する「請願」は市民の願いではない

請願に反対した議員は、共産党の4人と河野、高山、山口、菅野、三田議員の9人。賛成は市民クラブ・自民・公明党・絆の18人。

人間は様々な失敗を繰り返して今日に至っています。過ちを繰り返さないためには歴史的事実を正確に認識することが必要です。それを学ぶことで子どもたちが自らの未来に責任を持った生き方ができるのだと思います。修正されたウソやごまかしの内容を教えることは日本国憲法の精神に沿った教育の在り方ではありません。

憲法は、人間が犯す「戦争」「独裁」「人権弾圧」をしないために、国民が権力者の手を縛るためにできたものです。日本共産党は、これからも市民の幸福追求のために他会派と力を合わせて頑張ります。

